

小学校3・4年生～

2021年10月 no.79

よんでネット* 2021 秋号

発行口茅ヶ崎市立図書館／協力口茅ヶ崎図書館子どもの本の会

「しりとりボクシング」 新井けいこ 作 はせがわ はち絵

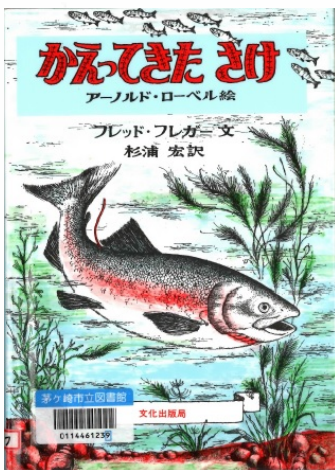
ぼくは恭平、小学4年。友達^{ともだち}の健太^{けんた}は、いつもみんなにからかわれているけど、虫博士^{むしはかせ}。虫^{むし}にかたな^{おんじん}ぼくの恩人^{おんじん}だ。ある日、12月の学年行事^{がくねんぎょうじ}でしりとり大会^{しりとりたいかい}をすることになった。1回の制限時間^{せいげんじかん}はたった10秒^{じゅうびょう}。まるで言葉^{ことば}のボクシング^{ぶくしんぐ}だ。不安^{ふあん}になる健太^{けんた}を助ける^{たす}ため、ぼくらはしりとりの特訓^{とくくん}をした。それは…。



小山峯書店〔913ア〕

「かえってきた さけ」

フレッド・フレガー 文 杉浦宏 訳
アーノルド・ローベル 絵



文化出版局〔933フ〕

さけは、川で生まれ、海で育ち、大きくなると生まれた川に帰ってきて たまごをうみます。さけをしらべていた おにいさんが、アックのために1ぴきのさけのこどもに あかひもをつけてくれました。「このさけに、あかひも、て名前をつけよう。ぼく このさけが 帰ってくるのをまているよ。」あかひもの 長いたびが はじまります。

「フレディ」

世界でいちばんかっこいいハムスター」

ディートロフ・ライヒェ 作 佐々木田鶴子 訳 しまだ・しほ 絵

旺文社〔943ヲ〕

ハムスターのフレディは、「ケージの中で回し車を回すだけの
ペット人生なんて ごめんだ」と思っていた。知恵をしぼって
ぬけ出したフレディだが、危険なこともいっぱい！人間と
話をするためにフレディが思いついたのは…なんとパソコン！
フレディが大かつやくするシリーズは全5さつ。



福音館書店〔48ヒ〕



「スズメのくらし」

ひらの のぶ あき ぶん しやん

平野伸明 文・写真

町なかでも 野原でも よく目につくスズメ。でもそのくらしは
ほとんど わからない。用心深くて おくびょうなので 近づけない。
この本は、スズメがなかまをふやす工夫、巣の作り方、子育てなど
いろいろなくらしを写真で見せてくれる。かわいいスズメを ゆくり楽しんで！

「アリババと40人のとうぞく」

アラビアンナイトより

ナルゲス・モハンマディ・絵

愛甲恵子・再話

ほろぶ出版〔E・絵本のコーナー〕

「ひらけ、ゴマ！」アリババが とはえると、岩のあいだの
鉄のとびらが 開いた。どうくつの中には 宝の山！とうぞくたちの
宝の かくし場所だ。じっは、とうぞくのかしら岩の前で とはえた
じゅもんを、アリババは こっそり聞いていたのだ。秘密を
知られた とうぞくたちは アリババを 追うが…。



理論社〔E・絵本のコーナー〕

「かえでの葉っぱ」

D・ムラースコヴァー 文 関沢明子 訳 出久根育 絵



秋。少年に風のにのせてもらった かえでの葉っぱは、
飛んで飛んで 空へ、お花ばたけへ、川へ…。くるくる
まわって 流れて行きました。雪がふると 土の下で
春を待ちました。春。葉っぱはまた 風のにのり…あの少年に
会えるかな？ 森の国 チェコの 美しい風景を 旅する 金色の葉っぱのものがたり。